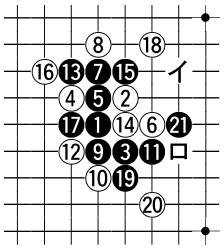


浦月四題目の解明 (10)

九段 河村典彦

【第88図】最後に、その他の白6の変化を調べていこう。この白6

第88図

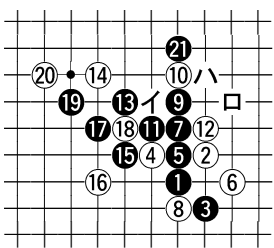


は水月と共通形となるが、盤端一路異なる。この盤端関係ではずばり黒7と引いて勝ちが出る。まずは白8から止めた場合を見ていこう。

この止めは弱いようだが、黒も引き出しに迷う。ここは黒9、11と引くのが良さそうだ。続いて黒13、15と引き、黒17からぐるっと回って黒21で勝ちとなる。黒21後イロ。

【第89図】したがって、白8はこちらから止めることになる。黒9

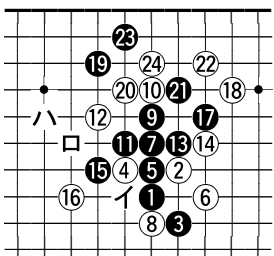
第89図



と伸びて黒11が恒星定石にも現れる組み立て。白12なら、ほぼ恒星定石と同じ勝ちとなる。黒13、15と引き、白16を反対なら四追い。白16に黒17のミセ手が肝心の一手。これで白のノリ手をかわしている。黒19、21と引いて、以下イロハの四追いとなる。最初の黒13に白14が反対なら、同じく黒15と引く。

【第90図】白12の変化。この白12が盤端関係が関係する防ぎとなる。

第90図

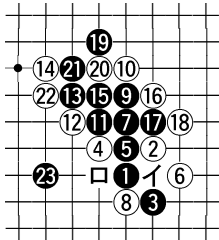


黒19、23と外側に大きく飛び出す手が盲点となる筋で、黒25よりイロハの四追いとなる。

この時、盤端までの距離が一路近ければ、黒23がトビ三にならないので追い勝ちがない、という訳である。こういう時の盤端関係は大きい。ここから追い勝ちがなければ黒困っただろう。

【第91図】白12の変化。この12が部分的には最も強く、すぐの追い

第91図

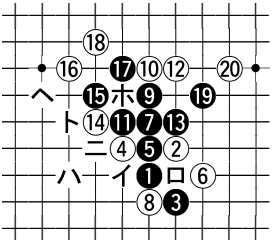


勝ちはなさそうだが、しかし、黒13、15と引き、黒17と休んでおけば、白の引き筋が牽制されている。

白は一遍に全部の筋は止められないので、どこかを防いで妥協するしかない。

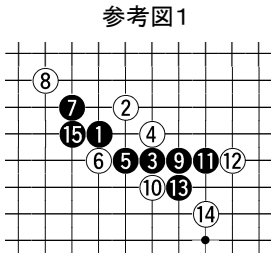
白18が強そうだが、黒19、21で先手を取れるので、黒23に手をまわして勝ちが出る。黒23後イロ。

第92図



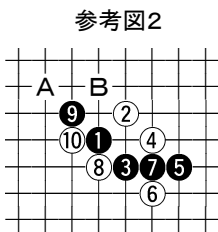
【第92図】白12の変化。あと厄介そうな防ぎは白12ぐらいである。この手に対しては黒13と引き、あとはノリ手にかからないように引いて行けば良い。黒15、17と引けば、いずれも引いた方に止めるのが絶対となる。黒19と引いた後、イハトの四追いで収束する。

【参考図1】ここで、本論とは外れるが、盤端関係の話をしておこ



参考図1

【参考図2】そこで、白も盤端関係が狭い方で何か作戦はないか考



参考図2

えてみる。見つけたのが同じ浦月で白4と防ぐ作戦。黒5は当然題数の候補に入るだろうが、白6と防げば黒9とは引けない。つまり、自動的に盤端が狭い形に誘導できるという訳である。当然ながら、黒9と打たれたら白Aに防いでダメで、10と防ぐのがいだろう。

こういう作戦を仕込んでおいて、時々仕掛けるのが面白い。もちろん実戦で黒に勝たれても一切責任は負いませんから。(笑)種を明かせば黒5の指定がダメで、Bと打てばいいだけである。しかし、普通は盤端関係をあまり考えずに黒5と打ちそうだから、試してみ

る価値はある。
【第93図】白6の変化。この白6はここで打つ手よりは、白4で大桂馬に防ぐ作戦の解決策として考えた方がいいだろう。黒は間違っ

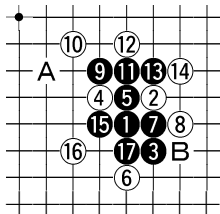
う。水月からスタートすると、白4の防

ぎに黒5と打ち、白6と打つ手が盤端関係を意識した防ぎとなる。黒7で9と打つと、白10と防がれて盤端が近くなる。

そこで黒も先に7と引いてから9と打つのが解決策である。この三を一本打って

おけば、白10の時に黒11、13と打ち、白14の防ぎに黒15と組んで勝ちが出る。興味のある方は変化を調べてみてほしい。

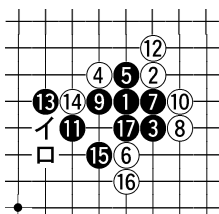
第93図



で両ミセとなる。

【第94図】いよいよ最後の図となった。トータルで100図近く費やしたことになる。白8は桂馬の網で普通は強いのだが、この場合はそれを突き破ることができる。黒9と引くのが第一歩で、黒7で三を引かなかった効果

第94図



で、白10と止めざるを得なくなっている。続いて黒11に引くのも気分がいい。白12と引いた方の反対を止めさせられるようでは辛い。黒13、15と引いて、以下イロの四追い勝ちとなる。

さて、全10回の講座、これでひとまず終了とする。簡単そうに見える防ぎでも、実にいろんな変化があるものである。今回この講座を書いて痛感したのは、三を引くタイミング、手順が非常に大切だということである。実戦でもおそらくそうであろう。ぜひこの「勝ちの呼吸」をマスターして、実力の向上に励んでいただければ幸いです。長い間、おつきあいありがとうございました。

ところで、白6を他の防ぎは？それは読者の皆様ご自身が解決でき

ても11に三を引いてはいけません。透かし止めをされている場合、三の価値は半減する。

ここは12と飛ぶ筋を残しておいた方がはるかに良い。そこで、黒7と固まるのが必

勝手であろう。白8なら黒9、11と引いて

良い。黒13、15と引いて以下容易である。黒17後AまたはB。白14を反対なら黒17